

ESA - DKIM キーのダウンタイム無しに存在を取り替えて下さい

目次

[はじめに](#)

[要件](#)

[新しい DKIM 署名キーを作成して下さい](#)

[新しい DKIM 署名プロファイルを生成し、DNS に DNS レコードを送達して下さい](#)

[古い署名プロファイルを削除し、新しい署名プロファイルからプレースホルダー ユーザを取除いて下さい](#)

[DKIM パスを確認するためにメール フローをテストして下さい](#)

概要

この資料にダウンタイム無しに DNS の ESA および DKIM 公開キーの既存の DKIM 署名キーを取り替える方法を記述されています。

要件

1. E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) へのアクセス。
2. 追加すべき DNS へのアクセスは/TXT レコードを削除します。
3. ESA は既に DKIM プロファイルのメッセージに署名したにちがいありません。

新しい DKIM 署名キーを作成して下さい

最初に ESA の新しい DKIM 署名キーを作成する必要があります:

1. >署名キーは Mail ポリシーに行き、選択します「Add 鍵を...」
2. DKIM キーを挙げれば新しい秘密キーを生成するか、または存在 1 に貼り付けて下さい。注: ほとんどの場合 2048 ビット秘密キー サイズを選択することを、推奨しました。
3. 変更を保存して下さい。
注: この変更は署名する DKIM かメール フローに影響を与えません。どうしても DKIM 署名キーを追加して、あらゆる DKIM 署名プロファイルにまだ加えていません。

新しい DKIM 署名プロファイルを生成し、DNS に DNS レコードを送達して下さい

次に、新しい DKIM 署名プロファイルを作成する必要があり、それからの DKIM DNS レコードを DKIM 署名プロファイル作成し、DNS にそのレコードを送達します:

1. >署名プロファイルは Mail ポリシーに行き、"Add Profile..."をクリックする つけて下さいプロファイルにフィールド「プロファイル名のわかりやすい名前を」。入力して下さいフィー

ルド「ドメイン名でドメインを」。入力して下さいフィールド「セクタに新しいセクタ
ストリングを」。

注: セクタはある特定のドメインのための複数の DKIM DNS レコードを可能にするのに使
用する任意の文字列です。ドメインのための DNS の複数の DKIM DNS レコードを割り当
てるのにセクタを利用しようと思っています。既に存在 DKIM 署名プロファイルと異な
っている新しいセクタを使用することは重要です。

選択して下さいフィールド「署名キーの前のセクションで作成される DKIM 署名キーを」。
署名プロファイルの非常に一番下で、追加して下さい新しい「ユーザを」。このユーザは
unused プレースホルダー eメールアドレスであるはずで。注意：この署名プロファイ
ルのためのユーザとして未使用 eメールアドレスを追加することは重要です。さもなければ
、このプロファイルは失敗します DKIM 確認は DKIM TXT レコードにより送達される前に
送信メッセージに署名するかもしれません。ユーザとして未使用 eメールアドレスを追加す
ることはこの署名プロファイルが送信メッセージを署名しないようにします。[Submit] をク
リックします。

2. ここから、ちょうど作成した"Generate"をクリックする、作成される DNS レコードをコピ
ーして下さい署名プロファイルのためのカラム「DNS テキスト レコードで」。それは次に
類似したに検知 する必要があります:

```
selector2._domainkey.example.com. IN TXT "v=DKIM1;  
p=MIIBIjANBgkqhkiG9w0BAQEFAAOCAQ8AMIIBCgKCAQEAWMaX6wMAk4iQoLNWiEkj0BrIRMDHXQ77430QUOYZQqEXS  
s+jMGomOknAZJpJR8TwmYHVPbD+30QRw0qEiRY3hYcmKOCWZ/hTo+NQ8qj1CSc1LTmDv0HWai2AGsVOT8BdFHkyxg40  
oyGWgktzclq7zIgWM8usHfKVWFzYgnattNzyEqHsfI7lG1lz5gdHBOvmF8LrDSfN"  
"KtGrTtvIxJM8pWeJm6pg6TM/cy0FypS2azkrl9riJcWWDvu38JXFL/eeYjGnBlzQeR5Pnbc3sVJd3cGaWx1bWjepyN  
QZ1PrS6Zwr7ZxSRa316Oxc36uCid5JAq0z+IcH4KkHqUueSGuGhwIDAQAB;"
```

3. 変更を保存して下さい。
4. DNS にステップ 2 で DKIM DNS TXT レコードを入れて下さい。
5. DKIM DNS TXT レコードが十分に伝搬するまで待つして下さい。

古い署名プロファイルを削除し、新しい署名プロファイルからプ レースホルダー ユーザを取除いて下さい

伝搬したことを DKIM TXT レコードが DNS に入ったらおよび確認したら、次のステップは古い
署名プロファイルを削除し、新しい署名プロファイルからプレースホルダー ユーザを取除くこと
です:

注: それは次のステップことをを続行する前に ESA コンフィギュレーション ファイルをバ
ックアップすること強く推奨されています。これは古い DKIM 署名プロファイルを削除し
、以前のコンフィギュレーションに戻る必要があれば容易にバックアップされたコンフィギ
ュレーション ファイルをロードできるという理由によります。

1. >署名プロファイルは Mail ポリシーに行き、古い DKIM 署名プロファイルを選択し、
"Delete."をクリックする
2. 新しい DKIM 署名プロファイルに入り、現在のホルダー ユーザを選択し、"Remove."をク
リックする
3. "Submit."をクリックする
4. カラムの下で「プロファイル」を"Test"をクリックする新しい DKIM 署名プロファイルのた
めにテストして下さい。テストが正常である場合、次のステップに進んで下さい。そうで
なかったら、確認して下さい DKIM DNS TXT レコードが十分に伝搬したことを。

5. 行う変更を保存して下さい。

DKIM パスを確認するためにメールフローをテストして下さい

この時点で、DKIM を更に設定することが完了します。ただし、送信メッセージに予想通り署名して、DKIM 確認を渡していることを確認するために署名している DKIM をテストする必要があります:

1. ESA によってメッセージを別のホストによって確認される DKIM ESA によって署名されておよび DKIM を得るようにします送信 しま。
2. メッセージがもう一方の端で受け取られたら、確認して下さいヘッダ「認証結果あるようにメッセージのヘッダを」。が DKIM 確認を渡すかどうか確認するためにヘッダの DKIM セクションを探して下さい。ヘッダは次に類似したに検知 する必要があります:

```
Authentication-Results: mx1.example.net; spf=SoftFail smtp.mailfrom=user1@example.net;  
dkim=pass header.i=none; dmarc=fail (p=none dis=none) d=example.net
```

3. ヘッダ「DKIM シグニチャ」を探し、正しいセレクトアおよびドメインが使用されていることを確認して下さい:

```
DKIM-Signature: a=rsa-sha256; d=example.net; s=selector2;  
c=simple; q=dns/txt; i=@example.net;  
t=1117574938; x=1118006938;  
h=from:to:subject:date;  
bh=MTIzNDU2Nzg5MDEyMzQ1Njc4OTAxMjMONTY3ODkwMTI=;  
b=dzdVyOfAKCdLXdJOc9G2q8LoXS1EniSbav+yuU4zGeeruD00lszZ  
VoG4ZHRNiYzR
```

4. DKIM は意図されているようにはたらいっていること満足したら、古い DKIM TXT レコードの削除の一週間前に少なくとも待って下さい。これは古い DKIM キーによって署名するすべてのメッセージが処理されたことを確認します。